データで見る 柏崎

人口 **73,840人**
男性 36,715人
女性 37,125人

世帯数 **34,485世帯**

※2026年9月末時点

脱炭素を目指して

脱炭素電力を
使っている
公共施設の割合

88.9%

高圧受電する公共施設（81施設）のうち、柏崎あい・あーるエナジー(株)が脱炭素電力を供給する施設（小・中学校など72施設）の割合です。

全国上位のDX推進度

全国自治体
DX推進度
ランキング2024※1

全国18位

人口8万人以下の自治体の中で

全国1位

※1 総務省の調査結果を基に、株式会社時事通信社が独自に点数化し、全国の市区町村と東京都特別区を対象にまとめたランキングです。（令和6（2024）年11月公表）

新潟県内屈指の財政力

財政力指数
0.646※2
（3カ年平均）

県内NO.1（20市中）　県内20市 平均：0.465（3カ年平均）

新潟県令和7年度決算 県内市の状況

将来負担比率
18.9%※3

県内NO.2（20市中）　県内20市 平均：63.8%

新潟県令和7年度決算 県内市の状況

※2 財政力指数とは地方公共団体の財政力を示す指数で、1に近い（または1を超える）ほど、財政に余裕があるとされています。

※3 将来負担比率とは、地方公共団体がこの先負担しなければならないお金が通常の収入に占める割合です。数値が高いほど、将来財政を圧迫する可能性が高く、年収の3.5倍（350%）を超えると危険水域になります。

東京からのアクセス

JR上越新幹線で
約2時間

北陸・関越自動車道で
約3時間

柏崎市勢要覧2026

発行日／令和8（2026）年9月
発行者／新潟県柏崎市
企画・制作・印刷／㈱DI Palette
https://www.city.kashiwazaki.lg.jp

柏崎市公式ホームページ
公式インスタグラム
公式フェイスブック
公式ユーチューブチャンネル
公式エックス
LINE公式アカウント

※この印刷物の印刷時に排出されるCO2は、佐渡市の「トキの森」整備に資金提供することによりオフセットしています。

笑顔とenergy（エナジー）あふれる未来都市 柏崎市



大崎雪割草の里
地域の保存会が約30万株の雪割草を保護・育成している里山。



柏崎刈羽原子力発電所
全7基の原子炉を有し、世界最大級の総出力を誇る発電所。



新潟県立柏崎アクアパーク
「水球のまち」を支える総合スポーツ施設。



海の大花火大会
200年の歴史を誇る花火大会。会場を16,000発の花火が彩る。



リケンNPR柏崎水素ステーション
水素を燃料とする車両に水素を充填可能。2026年開設。



キッズマジック
親子の笑顔が溢れる全天候型の子どもの屋内遊び場。



番神自然水族館
夏の風物詩。海の生き物と触れ合える体験イベント。



鯨波産業団地
GX戦略地域の認定を受ける。2030年の分譲開始を目指す。



柏崎フロンティアパーク
多彩な企業が集積する「ものづくりのまち」の産業拠点。



柏崎水素パーク INPEX
水素の製造から水素発電までを担う実証施設。2026年開設。



綾子舞会館
ユネスコ無形文化遺産・綾子舞の500年の歴史を伝える資料館。

大崎 西山 礼拝 西山IC 刈羽 荒浜 西中通 東柏崎 柏崎港 柏崎 鯨波 茨目 柏崎IC 越後広田 長鳥 青海川 笠島 米山IC 米山 安田 北条 新潟工科大学 新潟産業大学 高柳 じょんのび村
352 116 8 353 252 291

市勢要覧 2026

太陽光パネル　レドックスフロー電池

柏崎市 未来最前線

変化を続ける未来都市・柏崎市。その未来をどう描き、どんなまちになってほしいのか。地域を支える企業の社長たちに、柏崎市への期待を語っていただきました。

柏崎市における創業や事業所・工場の開設など、柏崎市との深いつながりが始まった順に掲載しております。

株式会社植木組

人・街・未来、響きあう感動

住み続けたい柏崎のために



株式会社植木組
代表取締役社長 日下部 久夫

当社は1885（明治18）年、柏崎の地で創業し、140年余にわたり地域とともに歩んでまいりました。創業のきっかけは、明治天皇の北越巡行に伴う道路修理です。その後、道路や橋梁、建築物など、時代ごとに地域から求められる社会基盤の整備に携わり、新潟県中越・中越沖地震では復旧・復興にも力を尽くしました。

私たちの仕事は、建物や構造物をつくることだけではありません。そこに暮らす人々の生活を支え、企業活動や雇用を支え、次の世代へ地域をつないでいくことも建設会社の役割だと考えています。人口減少をはじめ柏崎を取り巻く環境が大きく変わる今こそ、エネルギーをはじめとする地域産業の新たな展開も見据えながら、長年培ってきた技術と信頼を生かし、地域の皆様、企業、行政との連携をさらに深め、将来にわたり選ばれ、住み続けたいと思える柏崎の実現に貢献してまいります。



リケンNPR

地域の皆様と共に新しいステージへ



リケン NPR 株式会社
代表取締役社長兼 COO 若林 資典

株式会社リケンの前身である理化学興業株式会社は、1932年（昭和7年）ここ柏崎の地に工場を建設しました。地域の皆様方のご協力のもと90年余の歴史を経て、2023年に日本ピストンリング株式会社との経営統合によりリケンNPR株式会社が誕生し、2026年4月のグループ組織再編により柏崎事業所はリケンNPR株式会社新潟事業所として新しいスタートを切りました。

当社は引き続き柏崎をピストンリングの重要な生産拠点として位置づけており、主力製品の乗用車エンジン用ピストンリングのほか、今後も堅調な需要が見込まれる商用・産業用、船舶用ピストンリングの拡販にも注力しております。また、脱炭素化に向けた様々な取組みや、半導体・エレクトロニクス関連をはじめ新たな事業領域の拡充にも取り組んでいます。様々な変革と挑戦の機会が生まれるなか、これからも地域に根差した企業として柏崎の皆様とともに発展していくことを目指します。



TEPCO 東京電力ホールディングス

感謝と信頼で拓く未来



東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明

柏崎刈羽原子力発電所を1969年に誘致いただいて以来、柏崎市民の皆さまより、長きにわたり多大なるお支えをいただいてまいりましたことに、心より御礼申し上げます。

地元の皆さまのご支援により、6号機は、2026年4月に営業運転を開始いたしました。引き続き安全最優先で発電所を運営してまいります。当社は地域に根差した企業でありたいと考えており、例えば、所員が各地域での清掃活動や祭礼行事などに参加し、地元の皆さまと触れ合う活動を積極的に行っております。こうした中でいただいたご意見・ご要望に向き合い、当社の事業が将来にわたり地元の暮らしや産業にお役に立てるよう取り組んでまいります。

今後、柏崎市が力を注ぐDX・GX、防災の分野において地元との連携を一層深め「エネルギーのまち」「原子力産業のまち」柏崎市の発展に一層貢献してまいります。



ブルボン

これからも 柏崎市とともに





株式会社ブルボン
代表取締役社長 吉田匡慶

近現代にかけて「エネルギーのまち」として発展した柏崎市で、当社は柏崎駅前に創業し、100年以上にわたってビスケットを中心とした菓子をはじめ、飲食品や酒類など様々な“食”の提供を行ってきました。

また、次世代育成を目的とし、ここ柏崎から心と体の健康に貢献する「健康増進総合支援企業」を目指し、文化・芸術支援や水球などのスポーツ支援等に取り組んでいます。これも、地域の皆様のご理解とご協力なしでは語ることはできません。

地方が継続的に発展するためには、魅力向上に取り組み、その魅力を発信することが不可欠です。これからも、自治体と企業、そして地域住民が一体となって盛り上げ、活力ある柏崎市であり続けることを期待しています。

当社でも、「エネルギーのまち」から「脱炭素のまち」に変わろうとする柏崎で、地域の雇用や地域の皆様の生活に寄り添い、地域の活性化に貢献してまいります。

INPEX

柏崎から世界へ広がる 新エネルギー





株式会社 INPEX
代表取締役社長 上田 隆之

株式会社INPEXは、地域の皆様のご協力、ご理解を得て、1970年代より東柏崎ガス田において天然ガス・石油の開発及び生産を行い、日本の経済成長に貢献してまいりました。さらに2025年には平井地区に日本初となるブルー水素・アンモニアを製造する「柏崎水素パーク」を開所し、新潟県産ガスを使ったブルー水素発電電力を柏崎市に供給するなど、クリーンエネルギー拠点としての活動も活性化させています。

また、長年参加してきたぎおん柏崎まつりに加え、近年では、ウォーターポロクラブ柏崎への協賛、柏崎潮風マラソン、柏崎・夢の森公園などでのボランティア活動を通して、地域社会への貢献にも力を入れております。

柏崎は自然、資源、人材に恵まれた地域です。今後とも当社の事業活動が柏崎の活性化につながり、柏崎から世界へ新エネルギーの発信をしていきたいと考えております。

柏崎市

柏崎発の高性能電池が未来を支える

TOSHIBA



株式会社 東芝
代表取締役 社長執行役員 CEO
島田 太郎

当社は2010年にリチウムイオン二次電池『SCiB™』の生産拠点として、東芝柏崎工場を操業しました。SCiB™は、電池材料としてチタン酸リチウムを採用し、高い安全性、急速充電、長寿命を兼ね備えた電池です。発煙・発火リスクが低く、約6分で充電が可能なうえ、20,000回を超えるサイクル寿命を実現しています。また、低温環境下でも安定した性能を発揮し、自動車、鉄道、産業機器、蓄電システムなど、世界の幅広い分野で社会インフラを支えています。

東芝柏崎工場では、熟練の技術と先進の生産技術、そして徹底した品質管理を全社員が追求し、高品質な電池を提供しています。これからも地域とともに成長し、「エネルギーのまち」柏崎のものづくりの力でカーボンニュートラル社会の実現に貢献する製品を提供しながら、世界のエネルギー課題の解決に挑戦し続けます。



再生可能エネルギーの活用と普及に向けて

住友電工
Connect with Innovation



住友電気工業株式会社
社長 **井上 治**

私たち住友電気工業は、誠実なものづくりと確かな品質を礎に、地域社会との共生を大切にしております。

当社は2023年より、安全で長寿命な大容量蓄電池「レドックスフロー電池」の納入・運用を通じ、柏崎市におけるエネルギーの安定供給と、災害に強い街づくりを推進してまいりました。

豊かな自然に恵まれ、先進的なエネルギー政策を推進する柏崎市において、地域の皆様の取り組みと当社の技術が調和することで、再生可能エネルギーをより安心かつ効率的に活用できる環境が広がり、持続可能な地域の未来へとつながっていくと確信しております。

これからも市民・行政・企業の皆様としっかりと歩みを重ねながら、再生可能エネルギーの活用と普及に向けた取り組みを着実に進め、「未来につなぐ安心と暮らしやすさの追求」に貢献してまいります。



未来最前線



柏崎市長 **櫻井 雅浩**

真冬に「花の展覧会」を開催。生け花、絵画、写真など多様な花の展示が市民の心を和ませ、市外からのお客様を迎えています。

子育て、教育に力を入れ、1歳児、2歳児の保育料は無料、小、中学生の学力は県、全国平均を超えるようになりました。

ユネスコ無形文化遺産として認定された綾子舞は約500年、海の花火としては日本一を自負する「ぎおん柏崎まつり海の大花火大会」、400店以上の露店が集まる「えんま市」は約200年の歴史。

石油、原子力、と進めてきたエネルギー供給、太陽光、風力、水素、蓄電池も加わり、日本の経済を支え、地域産業のカーボンニュートラルを目指しています。

柏崎の水道行政は誇りとするところです。三つの上水道専用ダムを持ち、集水域の山々を全て市有地とし、開発の手を入れさせず、美味しい水の源を確保しています。

「保守、そして進取」伝統、歴史を大切なものとし、柏崎は前に進みます。



柏崎のあゆみ

柏崎市位置図



柏崎市は、昭和 15（1940）年、新潟県で5番目、全国で162 番目の「市」として発足しました。平成 17（2005）年に高柳町、西山町と合併し、令和2（2020）年に市制施行 80 周年を迎えました。米山・黒姫山・八石山の刈羽三山と、西山連峰の山々の懐に抱かれ、豊かな恵みを受けつつ、福浦八景や砂丘地など変化に富んだ 42 ㎞の海岸線から佐渡島を望む風光明媚な地方都市です。

明治時代に、周辺地帯から石油が噴出したことにより、製油会社の設立が相次ぎ、機械金属工業を中心とした「ものづくりのまち」として今日まで発展してきました。市民も行政も進取の気性を持ち、理想と目標を掲げ、さらなる発展を目指しています。

CONTENTS

02 柏崎市未来最前線
・株式会社植木組
・株式会社ブルボン
・リケン NPR 株式会社
・東京電力ホールディングス株式会社
・株式会社 INPEX
・株式会社東芝
・住友電気工業株式会社

エネルギー都市の発展
06 進化を続けるエネルギーのまち
08 未来を拓く 新たな挑戦

伝統文化を未来へ
10 ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会
12 世界が認めた綾子舞
13 水球がまちに活気を
14 海も山もすぐそこに
15 魅力発信! 食の挑戦
16 柏崎ブランドを味わう

市民の笑顔あふれるまち
18 子育てするなら柏崎
20 全国平均を超える学び
21 住み続けたいまちへ
22 柏崎で夢をカタチに

進化を続けるエネルギーのまち

エネルギーのまちの
あゆみ
THE HISTORY OF AN ENERGY CITY

柏崎市は石油産業のまち、原子力産業のまちを経て、現在は再生可能エネルギーと原子力発電が共存し、成長が期待される「環境・エネルギー産業」を生み出す段階（柏崎2.5）です。太陽光発電や蓄電池の導入を促進するとともに、水素エネルギーなどの次世代エネルギーも活用しながらその先にある「脱炭素のまち柏崎3.0」を見据えて、環境・経済両面で持続可能な社会を目指します。

動画はコチラ
「脱酸素のまち」
柏崎の挑戦

1900年代 — 1980年代～ — ～2030年 — 2050年～ ……

柏崎 1.0 石油産業のまち



柏崎 2.0 原子力産業のまち



柏崎 2.5 再生可能エネルギーと原子力のまち



柏崎 3.0 脱炭素のまち

- CO2排出量の徹底削減により、CO2排出と吸収のバランスを達成
- 環境エネルギー産業の確立

持続可能な社会へ

TOPICS 1 クリーンな水素電力を地域へ「柏崎水素パーク」が発電開始

株式会社INPEX

株式会社INPEXは、令和7（2025）年11月に開所した「柏崎水素パーク」で、柏崎市で行っている「ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験」の過程で得られる水素による発電を令和8（2026）年6月から開始しました。この実証試験は、利用時にCO2を発生しないクリーンなエネルギーである水素・アンモニアを、その製造から利用まで一貫して実施する、日本初のプロジェクトです。

これはINPEXが長年事業を展開してきた、新潟県を基盤にした地産地消型のプロジェクトで、原料となるガスは新潟県内でINPEXが操業する南長岡ガス田からの国産天然ガスを利用しています。また、製造の際に副次的に発生するCO2は、既にガス生産を終了した東柏崎ガス田平井地区の貯留層へ圧入し、大気への排出量を抑えています。発電した電力は、柏崎あい・あーるエナジーから柏崎市内の公共施設や民間事業者に順次供給され、柏崎市の脱炭素推進の取り組みが一歩前進することになります。



動画による
解説はコチラ



電気の地産地消を実現

レドックスフロー電池とは

長寿命かつ高い安全性を誇る大容量蓄電池。太陽光発電などの再生可能エネルギーの余剰電力を効率的に貯蔵・供給することができるため、地域エネルギーの地産地消と電力網の安定化の実現が期待されています。



大容量蓄電池「レドックスフロー電池」


浜忠太陽光発電所


安政町太陽光発電所


荒浜小学校PPA

TOPICS 2 脱炭素を目指して、新たな電源開発を推進

柏崎あい・あーるエナジー株式会社

「エネルギーのまち」としての歴史を持つ柏崎市は「脱炭素のまち柏崎3.0」を実現するため、脱炭素エネルギーを地域に面的供給する存在として地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」を設立しました。現在は、柏崎あい・あーるエナジーと連携し、未利用市有地に太陽光発電設備と大容量蓄電池の設置を進めています。

太陽光発電設備を最大限活用するための大容量蓄電池に、「長寿命・高い安全性・運用の容易さ」が特徴である住友電気工業株式会社のレドックスフロー電池を導入しています。地域新電力の中ではトップクラスの容量の蓄電池で、災害時にも活用可能です。

地域内への脱炭素電力の供給元となることで、ものづくり企業のRE100への取り組みを後押しし、製品の付加価値向上を目指します。また、エネルギーの地産地消のみならず、原子力発電に伴う首都圏への大容量送電線を利用することで、海底直流送電線を本市で陸揚げ・接続し、日本海側から首都圏のカーボンニュートラルを支える脱炭素電力の供給拠点を目指します。

柏崎あい・あーるエナジーとは

地域で創出した脱炭素電力を市内の公共施設や民間事業者に販売する「電力小売事業」を行い、市内の脱炭素化を推進する地域エネルギー会社です。

設　　立：令和4（2022）年3月30日
代表取締役社長：櫻井 雅浩
出 資 者：柏崎市、株式会社INPEX JAPAN、パシフィックパワー株式会社、石油資源開発株式会社、北陸瓦斯株式会社、株式会社植木組、株式会社第四北越銀行、株式会社ブルボン、柏崎信用金庫

事業年度	太陽光	蓄電池	設置場所
令和4（2022）年	630kW	1,500kWh	鯨波地内
令和4（2022）年	900kW	—	西長鳥地内
令和5（2023）年	500kW	8,000kWh	安政町地内
令和6（2024）年	500kW	8,000kWh	北条地内
令和7（2025）年	500kW	8,000kWh	西山町浜忠地内
令和8（2026）年	300kW	8,000kWh	西山町大崎地内
令和9（2027）年	300kW	8,000kWh	（調査後に決定）
計	**3,630kW**	**41,500kWh**	

未来を拓く 新たな挑戦

Case1

リケン NPR 株式会社

脱炭素のまちづくりを加速

水素エンジンの開発

柏崎市に主要事業所を構えるリケンNPR株式会社は、自動車エンジン部品で培った知見や技術を生かし、水素エンジンの開発に取り組んでいます。柏崎市は、「令和４年度自動車・環境エネルギー産業等新分野展開支援補助金」を交付して支援しており、この補助金は水素評価設備の拡充に使われています。

試作した水素エンジンは実証用トラックに搭載され、令和8(2026)年5月から実証試験が開始されました。同社では、柏崎市内の製造拠点と輸送拠点間の製品輸送に小型トラックを使用しており、そのうちの1台が水素エンジンの実証試験車両として活用されています。実証試験に必要な水素ステーションは、柏崎市柳田町の国道8号沿いに設置してあり、一般者の燃料電池車充填にも利用可能。今後も水素エネルギーの意義や可能性を市民に発信しながら、水素利活用の拡大に取り組んでいきます。







Case2

株式会社カシックス

市内の情報産業77億円をけん引

自治体向けサービスを拡大

柏崎市の情報産業の売上規模は約77億円に達し、人口規模が同程度の自治体の中でもトップクラスの水準を誇ります。その中核を担うのが、昭和62(1987)年に柏崎市の第三セクターとして設立された株式会社カシックスです。自治体向けICTサービスを主力事業とし、情報システムの企画・設計から運用・保守までを一貫して支援しています。

近年は、自治体DXを支えるパートナーとして需要が拡大しており、業務効率化やセキュリティ対策など幅広い分野をサポート。柏崎市をはじめ、新潟県内の複数都市、さらに県外自治体にもサービスを展開するなど活躍の場を広げ、県内の独立系IT企業の中ではトップクラスの売上規模です。また、原子力発電所周辺地域向けの安定ヨウ素剤管理システムを開発し、現在は7県18自治体が導入。地域で培った技術力を生かし、全国の自治体を支える企業として存在感を高めています。











電気料金 約50%軽減

柏崎市への工場の新増設で 最大 24 年間の電気料金補助！

原子力発電所立地自治体である柏崎市に工場などを新設または増設した場合、国のF補助金制度（原子力発電施設周辺地域企業立地支援給付金）を活用できます。電気使用料金のおおむね半額が、８年間（条件を満たせば最大24年間）補助金として交付されます。

対象企業

製造業または柏崎市や新潟県の企業立地促進制度に該当し、下記三つの要件を満たした企業が対象です。

- 工場等の新増設
- 契約電力・電気料金の増加
- 雇用の増加が３人以上

交付例

〈 算定例 〉

○契約電力…300kw/ 1ヵ月 ×12 カ月

○増加した雇用人数…3 人

支払う電気料金（12 カ月分）
10,680,000 円
※消費税除く

①Ｆ補助金交付決定額 3,282,000 円 ＋ ②原子力立地給付金 300kw×9,456 円(1kwあたり) 2,836,800 円

交付される補助金
6,118,800 円

補助金割合 57.3 %

カーボンニュートラルを達成する鯨波産業団地を整備 2030年度分譲開始予定、GX戦略地域に認定

脱炭素のまち柏崎2.5を実現する産業団地の整備を進めています。事業の国内回帰などによる全国的な産業用地の不足状況に対し、脱炭素電力やカーボンオフセットガスの供給により脱炭素経営を容易に実現できる産業団地を整備することで、将来に向けた立地企業の継続的な事業活動を支えます。

脱炭素電力は、市内の再生可能エネルギーや原子力発電の電力に市場で調達する脱炭素電力を組み合わせ、地域エネルギー会社の柏崎あい・あーるエナジー株式会社が供給を担保します。

また、脱炭素型の熱源としてガス小売会社がカーボンオフセットガスを供給するほか、三つの水道専用ダムによる豊富な上水道、高速道路・幹線国道や柏崎港に近接する良好なアクセス、十分な緑地面積など、産業用地に必要不可欠なインフラを備えます。

鯨波産業団地は、高い技術力を持つ市内のものづくり産業300社との連携を含めて、脱炭素時代に向けた企業ニーズにすべて応える産業団地です。

※鯨波産業団地は、国のGX戦略地域に認定された産業団地です。

主な仕様

事業主体・分譲主	開発区域総面積	産業用地分譲面積	分譲区画
柏崎市	約 29.7ha	約 14.5ha	8 区画

電力	ガス	用水	情報インフラ
高圧(6,000V)供給	低圧供給	上水道	光回線

ぎおん柏崎まつり

海の大花火大会

圧巻の演出

長さ1,500mの大迫力

一夜で1万6,000発

日本海を舞台に開催する柏崎の海の大花火大会。越後三大花火大会の一つに数えられ、海を舞台にした花火大会としては、柏崎ほど打上範囲が広い会場は他にありません。

江戸時代末期、京都の八坂神社の流れをくむ柏崎の八坂神社が、祭礼に花火を打ち上げたのが始まりといわれています。明治、大正、昭和、平成、令和と時代が移り変わっても、柏崎の夏の風物詩として市民に親しまれてきました。

日本海の夕闇をスクリーンに、海に向かって打ち込まれる「海中空スターマイン」、長さ600mの堤防を使った「ワイドスターマイン」、そして大迫力の「尺玉100発一斉打上（2連続）」「怒涛の尺玉300連発」など海の柏崎ならではの花火が次々と打ち上がります。一夜で1万6千発もの花火が打ち上がり、柏崎の夜を彩ります。





ぎおん柏崎まつり

柏崎が熱気に沸く3日間開催のお祭り。7月24日に民謡街頭流し、25日に山車やみこしが繰り出す「たる仁和賀」と続き、クライマックスを飾るのが26日の「海の大花火大会」です。





世界が認めた綾子舞

綾子舞を未来へ

綾子舞は、柏崎市の鵜川地区におよそ500年前から伝わる古雅な民俗芸能です。かつては地域のいくつかの集落で綾子舞が伝承されていましたが、明治中期になると次第に途絶えてしまいました。現在は大字女谷（おなだに）の高原田（たかんだ）と下野（しもの）の二つの座元（保存会）が、先祖伝来の芸風を誇りに伝統を受け継いでいます。

女性が踊る小歌踊（こうたおどり）と、男性が演じる囃子舞（はやしまい）、狂言（きょうげん）の三つを総称して綾子舞といいます。







パリ公演決定

昭和51（1976）年の国重要無形民俗文化財指定から50年を迎える綾子舞。令和4（2022）年に「風流踊（ふりゅうおどり）」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受けて、令和9（2027）年3月にユネスコ本部があるパリで公演を行うことが決定しました。パリでは、さまざまな扇の所作や、ユライ、だらり帯などの特徴的な衣装が持つ独自性や文化的価値を現地の皆さまに披露する予定です。今後の国際的な文化連携への広がりも期待されます。



養成講座　参加者の声



齫（もたい） 香澄 さん
15歳　綾子舞歴7年

Interview 01

綾子舞の美を世界へ、次世代へ

綾子舞の魅力は、扇の角度や視線の向け方など、細やかな所作の美しさにあります。パリ公演では、そうした魅力を多くの方に見ていただきたいです。今後、小学生たちにも綾子舞の伝統を伝え、次世代に引き継いでいきたいです。



種岡 樹 さん
14歳　綾子舞歴1年

Interview 02

綾子舞に出会い、学び、舞い、「伝えたい」に

養成講座への参加のきっかけは友達からの誘いでした。言葉や踊りを覚え、舞台でこれまでできなかったことができるようになるにつれて、夢中になりました。県外や海外の方にも、この綾子舞の魅力を伝えたいです。







水球がまちに活気を



世界とつながる水球のまち

柏崎市では、アジア圏を中心とした世界各国のナショナルチームからジュニアクラブチームまで、幅広いカテゴリーの水球チームが合宿を行っています。長年にわたり多くのチームを受け入れてきた実績と充実した練習環境を生かし、競技力向上を目的とした強化合宿やオリンピックなどの大会前の事前キャンプ地として選ばれています。合宿受け入れは地元選手の育成にもつながっており、海外トップレベルの選手から直接指導を受けられることは、「水球のまち柏崎」ならではの強みです。



▲シンガポール男子代表チーム



▲セルビア男子代表チーム

2026年 ジュニアオリンピック優勝

60年以上の歴史の中で育まれた水球文化は、若い世代へ確実に受け継がれています。令和8（2026）年8月、小学生チームがJOCジュニアオリンピックカップ夏季大会で19年ぶりに全国制覇を達成。日々の練習に励む子どもたち、それを温かく見守る地域の絆は、柏崎の原動力です。



優勝した小学生チーム



番神自然水族館

水族館跡地の岩場を利用して磯遊びや海の生物の観察を行なうことができるイベント。夏休みの自由研究や思い出作りとして参加する市民の多い人気企画です。


カタクリ

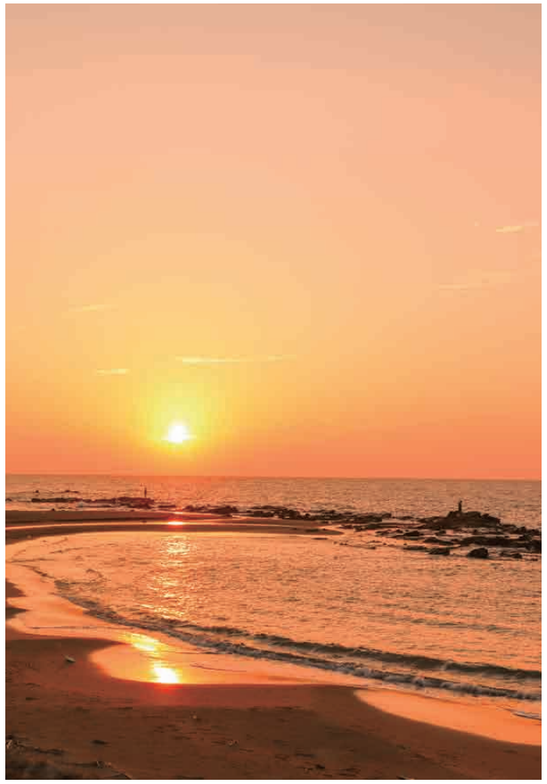

雪割草

カタクリと雪割草

柏崎の山々には、雪解け後のわずか2週間程度しか見ることができない貴重な「カタクリ」、新潟県の草花に指定される可憐な「雪割草」を鑑賞できる場所があり、山を訪れる方々の心を癒やしています。

柏崎の夕日

総延長42kmにも及ぶ柏崎の海岸線には、美しい夕日が見えるスポットが点在。日本海に沈む、雄大な夕日は息をのむ美しさです。



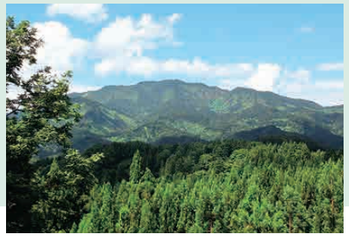
海も山もすぐそこに

刈羽三山



米山（標高 992m）

山頂に日本三大薬師の一つである米山薬師堂が建ち、360度の展望が楽しめます。古くから豊作を祈願する人たちが訪れてきました。



刈羽黒姫山（標高 891m）

手軽にハイキングを楽しめる山として多くの人に親しまれてきました。山頂一帯はブナ林が残り、機織の神を祭った鵜川神社と石仏がたたずんでいます。



八石山（標高 518m）

不動滝や屏風滝といった名瀑を抱いた名山です。山野草が多く、登山道が整備されているため、新緑や紅葉の季節の山歩きが楽しめます。

魅力発信！食の挑戦

Challenge 01

海外でおむすび文化普及へ 山波農場が新会社設立







市内で米を生産する有限会社山波農場は、香港を中心に日本産米おむすび専門店を展開する「百農社國際有限公司」と共同で、令和8（2026）年に新会社「おむすび新潟」を設立しました。百農社の出店拡大に合わせ、輸出用米の生産・販売を担います。

百農社は「百年先の農を創る」という理念を掲げて、日本産米にこだわったおむすびを海外に広めている日系企業です。令和8（2026）年にアメリカ初進出となる1号店を出店し、今後はアメリカ全体で出店拡大を目指しています。国内で米の需要減が見込まれる中、海外の販路の拡大に協力することで、地域の農地や農業を維持していくことが狙いです。山波社長は「この取り組みで、海外に新たな需要が生まれ、当社の企業理念である『地域の農業を守る』に繋がっていくと思います。将来的には一緒に輸出用の米を生産する仲間を増やしながら、1,000トンの取扱量を目指します」とビジョンを話しました。

Challenge 02

国道252号沿いに 個性的なお店が増加中！


「柏崎、いいお店あるよね！」って言ってもらいたい!!

オーナー 井澤 日向汰さん　スタッフ 井澤 淳子さん

01 GARAGE CAFE ネコジタ

車庫を改装したアメリカンなカフェ。自家製バンズのビッグなハンバーガーや、オリジナリティあふれるスイーツが人気。老若男女幅広い層に愛され、今では柏崎を離れた人たちが「ただいま！」と戻ってくる場所です。


火曜と土曜の週2回、みんなで楽しく営業しています

代表 水野 美保さん　スタッフ 内山 美也子さん

02 かのう咲太郎

営むのは地元のお母さんたち。コシヒカリなどさまざまな品種の自家栽培米をふっくら炊き上げ、注文の都度握って提供。具材には旬の地場産野菜も取り入れ、おにぎりを通して地域の魅力を発信しています。


鯖石地区で何かをやってみたいという人を応援したいです

マネージャー 毛見 美樹さん　代表 毛見 俊夫さん

03 FUFU 茶屋

鯛焼き店から令和8（2026）年春にブックカフェにリニューアル。本を片手にドリンクやスイーツを味わえます。店内で販売されている古着や雑貨との出合いも楽しみの一つ。隣接するレンタルスペースstudio_fufuとともに地域をつなぐハブを目指しています。



市街と高柳町の中間あたりに位置する鯖石地区を中心に、個性的なお店が増加中。店主同士も仲良く、手を取り合いながら新たな賑わいを生み出しています。

駄菓子と一緒に、周辺ののどかな風景も楽しんでください

店主 寺澤 順也さん

04 鯖石だがし工房

「子どもたちにもお年寄りにも気軽に立ち寄ってもらえる場所を作りたい」と自宅を改装し開店。80種類ほどの駄菓子を自当てに、週末には市外からもお客さんが集います。手作り雑貨も販売。

Savor the Kashiwazaki brand

柏崎ブランドを味わう



笠島もずく

まずは「笠島もずく」。笠島の海が育てた貴重な味覚ね。

普段食べているもずくより、シャキシャキした歯ざわり！磯の風味を感じる。

高級品で贈り物にもするんだって。





「極上の白身」と言われる幻の高級魚

アラ

アラは、柏崎独自の伝統的な漁法「桶流し一本釣り」で1匹ずつ丁寧に獲る高級魚。鮮度を保つため、釣り上げた後、船の上で下処理するみたい。

だから、お刺身も脂がのってモチモチでおいしい。まさに「極上の白身」ね。



「全国えだまめ選手権」で最高金賞を受賞しました

枝豆

この枝豆、濃厚な旨味と甘みで好きな味。食べだしたら、手が止まらない。

ホント、香りも良いし。さすが、全国選手権で最高金賞の枝豆！　中でも「越後はちこく茶豆」は7月中旬から収穫が始まるから、旨を逃さないよう覚えておかなくちゃ！



葉月みのりのおにぎり

やっぱり米どころのおにぎりはおいしいわ。粒の大きさとこの甘み。

この「葉月みのり」は8月に収穫する早生品種。真夏に新米が食べられるのよ。

それは嬉しいね。秋のコシヒカリや新之助など、色んなお米の味わいが楽しめるのも米どころならではね。



「全国ご当地どんぶり選手権」でグランプリを受賞しました

柏崎市認証コシヒカリ「米山プリンセス」の鯛茶漬け

鯛茶漬けは知ってる、柏崎の名物よね。鯛の旨味がして、出汁も上品な味わい。

お店によって違う鯛茶漬けが楽しめるから、食べ比べもいいかも。

このお米、米山プリンセスなの？　柏崎産コシヒカリの最高峰でしょ。

米粒の大きさや食味値など厳しい認証基準をクリアして認証されるブランド米だからね。この組み合わせは贅沢よ！





「米山プリンセス」生産者コメント

本当においしいお米を食べてほしい、そんな思いで大切に育てたお米です。噛むほどに広がる豊かな甘みと香りは、どんなおかずも引き立ててくれます。毎日の食卓が、きっと特別な時間になりますよ。

絶対においしい！「食味値85点以上」



越後姫

デザートは新潟のブランド苺「越後姫」ね。

香りが良くて、甘みと酸味のバランスも好み。

ふるさと納税の返礼品としても人気。全国の人たちにも愛されているんだね。

海の恵みも大地の恵みもどちらも揃うのが柏崎グルメの魅力♪　ごちそうさまでした！



柏崎ふるさと応縁基金

柏崎で生まれ育った方や両親・親戚が柏崎にお住まいの方、柏崎を応援したい方などに、まちづくりのための寄付を広く募っています。柏崎とつながる多くの皆さんとの「縁」を大切にしたいという思いから、名称を「柏崎ふるさと応縁基金」としています。「柏崎ふるさと応縁基金」を通して、これからの柏崎のまちづくりをぜひ応援ください。



満足度が証明 子育てするなら柏崎

満足度 98.8% 妊産婦・子どもの医療費助成



妊産婦医療費助成

母子健康手帳の交付を受けた日から出産した月の翌月末日までに、妊産婦の医療費を助成します。

子どもの医療費助成

出生日または転入日から高校卒業（18歳到達年度末）まで、お子さんの医療費を助成します。

【自己負担額】
■通院　1回 530円　　■入院　1日 1,200円
■薬代　無料 など

満足度 97.5% 1・2歳児の保育料無料化



令和5（2023）年から、世帯収入にかかわらず、1・2歳児の保育料を無料化（給食費相当分の負担あり）。平均で子ども1人当たり約24万円/年の負担軽減となり、保育料の心配を減らし、安心して働きながら子育てができます。



満足度 95.6% 子育て応援券・家庭養育応援券

さまざまな子育て支援サービスなどに利用できる子育て応援券（かしわ★ざ★キッズ！スターチケット）を、0～3歳までのお子さんのいる世帯を対象に毎年支給します。令和8（2026）年から支給額を1,000円増額し、11,000円となりました。電子チケットにも対応しています。

また、令和6（2024）年4月からは、1～5歳児の未就園のお子さんを育てている世帯に月5,000円分の「家庭養育応援券（かしわ★ざ★キッズ！スターチケット@ホーム）」を支給しています。

おむつや
インフルエンザ予防接種
などにも使える







※満足度は令和8（2026）年6月にアンケート実施。該当サービスに対して「役立っている」「どちらかと言えば役立っている」との回答割合。

満足度 81.6% 無料で遊べる 子どもの屋内遊び場施設 キッズマジック







柏崎ショッピングモールフォンジェ内の屋内遊び場施設「キッズマジック」を令和6（2024）年4月に市営化し、利用料を無料にしました。また、令和7（2025）年に子どもたちが「柏崎の木」のぬくもりを感じることのできる「木育エリア」をはじめ、四つの多彩な遊び空間を持つ施設にリニューアル。施設面積も約2倍に拡張しました。リニューアル後、市民の利用は民営時の2.5倍となり、少子化が進む状況において大幅に増加しました。



こんなにあるの？
ライフステージや目的に合わせた子育て支援



妊娠・出産
- 歯周病検診無料クーポン
- 妊産婦医療費助成
- 妊婦のための支援給付
- 不妊・不育症治療費助成

など



乳幼児期
- 子育て応援券「スターチケット」
- 子どもの医療費助成
- 子育て支援室
- 各種健診・予防接種

など



保育・預かり
- 1・2歳児保育料無料化
- 病児保育
- ファミリー・サポート・センター
- 育児支援ヘルパー

など



小学生以降
- 児童クラブ
- 子どもの医療費助成
- 就学援助
- 学力向上推進プロジェクト

など

かしわざき子育てガイドブックがリニューアル！

妊娠・出産・成長・健康・保育などに関わる制度や子育て情報をまとめました。今の自分に合うサポートを探すのにピッタリの1冊です。



柏崎市子育て応援サイトはこちら



小学 6 年の学力

国語…全国平均より+1.2pt

算数…全国平均より+3.5pt

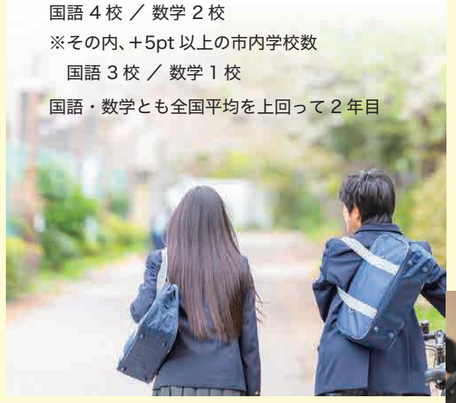
全国平均より＋3pt 以上の市内学校数
国語 4 校 ／ 算数 9 校
※その内、＋5pt 以上の市内学校数
　国語 3 校 ／ 算数 7 校
国語・算数とも全国平均を上回って 4 年目

中学 3 年の学力

国語…全国平均より+1.9pt

数学…全国平均より+0.3pt

全国平均より＋3pt 以上の市内学校数
国語 4 校 ／ 数学 2 校
※その内、＋5pt 以上の市内学校数
　国語 3 校 ／ 数学 1 校
国語・数学とも全国平均を上回って 2 年目



全国平均を超える学び

※令和 8 (2026)年4月実施
　全国学力・学習状況調査より

柏崎市では、将来自分の夢をつかみ取れる子どもを育むことを目的に令和4（2022）年に「学力向上推進プロジェクト」を立ち上げました。その成果として、現在小学6年・中学3年ともに学力が全国平均を上回っています。



アンケート結果から

・先生は、分かるまで教えてくれていると思う

小学校 91.3%（全国平均より＋4.0%）

中学校 90.7%（全国平均より＋5.5%）

学力向上推進プロジェクトの取り組み

1. 学習環境と教職員研修の充実

・指導補助員や学習指導非常勤講師を配置
・学習用タブレットや電子黒板の導入と活用
・授業の達人による示範授業研修を開催し、教員の授業力を向上

2. データに基づく学力分析と個別最適化

・学力調査の結果に対して独自分析シートにより、児童生徒の学力の経年変化を客観的に把握
・AIドリルを活用し、一人一人の課題に応じた補充問題を提供

3. 授業づくりを中核とした組織的な実践

・授業のねらいを明確にするための市独自の指導案形式の提案
・「柏崎授業づくりゼミ」を立ち上げ、実践研究と授業改善を継続

4. 全国へ広がる柏崎の授業づくり

・「柏崎授業づくりゼミ」の実践やノウハウを体系化
・オリジナル冊子『夢を描く、体系的な授業づくりハンドブック』を制作。これは全国の学校や教員研修でも活用されている

住み続けたいまちへ



AI 新交通「あいくる」がつなぐ、柏崎の暮らし

柏崎市AI新交通「あいくる」は、AIを活用した予約型の乗り合い交通。自宅近くの乗降ポイントから、通院や買い物など、日々の暮らしに必要な場所へ移動できる便利な交通手段として、令和5（2023）年に運行を開始しました。市内約760カ所に乗降ポイントを設け、きめ細かな移動サービスを提供しており、現在は1日140人を超える方から利用されています。地域の特性や利用状況に合わせて運行エリアを順次拡大しており、将来的には市内全地域への展開を目指しています。「あいくる」は市民の身近な移動を支える新たな足として、これからも利便性の向上に取り組み、地域の暮らしをつないでいきます。







コツコツ貯筋体操で未来につなぐ運動習慣

コツコツ貯筋体操は、足腰の筋力と柔軟性を向上させ、転倒しにくい体をつくることを目的とした柏崎市のオリジナル体操です。町内会やくらしのサポートセンターなどで行われており、令和7（2025）年度は、市内184会場で延べ約10万人が実践。年を重ねても住み慣れた場所で安心して過ごせる地域づくりを担う、重要な活動となっています。

医療環境の充実へ 研修医の海外研修費を補助

市内で必要な医療を受けられるよう、医療を担う人材の育成・確保に力を入れています。基幹的病院である柏崎総合医療センターに着任する臨床研修医を増やすため、研修医が国内研修や海外留学を行う経費を補助するなど、魅力ある研修環境の整備に努めています。令和4（2022）年4月から令和8（2026）年4月までに20人の研修医が着任し、そのうち2人はジョンズ・ホプキンス大学などの海外大学院で公衆衛生を学び、地域医療を担う人材として活躍しています。

また、市内には国立病院機構新潟病院附属看護学校があり、1学年約40人の学生が3年間にわたり、看護師に必要な知識や技術の習得に励んでいます。市では、看護学校に入学した学生への祝い金支給や学校運営への支援を行い、将来、市内の病院に勤務する看護師の育成・確保に取り組んでいます。この他、新潟大学と連携し、産婦人科医の確保に努め、市内で安心して出産できる体制を維持しています。





柏崎で夢をカタチに



醸造所と地域で連携
お出かけの「目的地」に

profile
1990年生まれ。神奈川県出身。兵庫県の大手日本酒メーカー、東京都内の地酒販売店を経て、2021年から柏崎市の「阿部酒造」で酒造りを学ぶ。2024年「弥栄醸造」を設立。

弥栄醸造

代表 坂本（さかもと） 一浩（かずひろ）さん

柏崎市の阿部酒造で酒造りを学ぶため移住した坂本さん。令和6（2024）年に弥栄醸造を立ち上げ、宮ノ下地域の古民家を改修。地域の農家の方と連携しながら、地元で収穫された米を原料に米麹100％で仕込む独自の酒造りに挑戦しています。現在醸造所と併設する直売所の準備を進めており、将来は宿泊施設の整備も視野に。「宮ノ下地域を人が訪れる魅力的な場所にしていきたい」と地域活性化への熱い想いがあります。

さらに詳しいインタビューはコチラ »





柏崎が誇る酒造会社 日本酒

阿部酒造

代表銘柄
あべ



1804年創業。地元銘柄は「越乃男山」。2015年、廃業予定の蔵に6代目の阿部裕太氏が戻り「あべ」ブランドを展開開始。2025年には新蔵が完成し、蔵を開放した取り組みを行う予定。

原酒造

代表銘柄
越の誉



1814年創業。代表銘柄「越の誉」は「郷土の誉たる誇りの酒」として蔵が代々受け継いで醸すブランド。晩酌酒から個性豊かな限定酒まで種類も多彩です。

石塚酒造

代表銘柄
かめぐち酒



1912年創業。一般的な三段仕込みではなく、四段目にもち米を使用した「もち米四段仕込み」による酒造りが特長。「かめぐち酒」も濃厚な味わいです。



柏崎で見つけた医療の最先端を支える仕事

プロスパー株式会社

やまざき まなみ
山﨑 愛美さん

profile
1990年柏崎市生まれ。2009年専門学校進学で神奈川県へ。卒業後も関東で働く。2015年柏崎市にUターン。2016年、プロスパー株式会社に入社。3歳と6歳の男児のママ。

柏崎市にUターンし、プロスパー株式会社で医療用インプラントの製造に携わる山﨑さん。「以前はパティシエとして働いていましたが、職業訓練校で機械加工に出合い、ゼロから作り上げるものづくりの面白さに目覚めました。現在は2児の母として柏崎での暮らしや子育てを楽しみながら、医療の最先端を支える仕事にやりがいを感じています」。これからも技術を磨いていきたいと前向きな思いを語ってくれました。

さらに詳しいインタビューはコチラ »

若者が夢を描けるまちづくりをしていきたい

ワクシード

代表コーディネーター
おぐら りょう
小倉 凌さん



profile
2002年柏崎市生まれ。2020年金沢大学理工学域地球社会基盤学類に進学。2023年に大学を休学し、同年12月、柏崎市でワクシードを設立。柏崎と金沢で活動後、2025年3月に同大学を卒業、同年4月に柏崎市へU ターン。

金沢大学を休学し、地元・柏崎市でワクシードを立ち上げた小倉さん。高校時代の授業を機にまちづくりに興味を持ち、現在は学生と企業をつなぐインターンシップや、中高生向けの探究学習支援などを行っています。「今後は実践型インターンの受け入れ企業の拡大や、若者が気軽に過ごせる居場所づくりを目指しています。柏崎なら自分のやりたいことができると思える若者を増やしたい」と笑顔で話してくれました。

さらに詳しいインタビューはコチラ »

のんびり、マイペースで柏崎で農業を楽しむ

株式会社田村農産

しんがい なな
眞貝 奈那さん



profile
1995年柏崎市生まれ。高校卒業後、9年間販売・接客業に携わり、2022年に株式会社田村農産に入社。自社で作る米では「コシヒカリ」が1番好き。

接客業を経て、自分の好きなことをやろうと株式会社田村農産に入社。「米や多品種の野菜栽培に携わり、小さな種から育てて成長を見届けることに面白さを感じています。かつては苦手だった接客も、愛情を込めた野菜をお客さまに届けて喜ばれることで、今では楽しさに変わりました」。ゆったりした柏崎でずっと農業を続けたいと、自分らしくマイペースに農業を楽しんでいます。

さらに詳しいインタビューはコチラ »